

# 第1回 EP アブレーション技術研究会 プログラム

日 時：平成 24 年 11 月 25 日(日) 9:20～15:45  
受 付：9:00～15:00  
会 場：海峡メッセ下関 国際会議場  
参加費：3,000 円  
後 援：日本不整脈学会 ・ 日本臨床工学技士会

## 国際会議場

### ○9:20～9:30 開会発言

代表世話人：小倉記念病院 丹生 治司

### ○9:30～10:30 一般演題

座長：柴田 正慶（北海道循環器病院 診療技術部 臨床検査部門）  
山崎 大輔（旭川医科大学病院 診療技術部 臨床工学技術部門）

- ① 当院におけるアブレーション業務への取り組みと今後の展望  
猪俣 雄祐（北海道循環器病院 診療技術部 臨床工学部門）
- ② PM の心内心電図から PSVT の存在が推測された症例  
小川 聡（社会医療法人 高清会 高井病院 透析室）
- ③ フアロー四徴症術後の瘢痕性心房頻拍に対して高周波カテーテルアブレーションが奏功した一例  
福田 康司（北海道循環器病院 診療技術部 臨床工学部門）
- ④ 心房細動のカテーテルアブレーションにおける EnSite NavX を用いた多極同時マッピングの有用性について  
水野 貴仁（社会保険中京病院 SMI センター）
- ⑤ 呼吸インピーダンス波形を利用した左房 CARTOSOUND MERGE  
佐藤 尚（聖マリアンナ医科大学病院 クリニカルエンジニア部）
- ⑥ 左室前乳頭筋起源の VPC・NSVT に CARTOSOUND が有用であった 1 例  
片山 浩二（平成紫川会 小倉記念病院 検査技師部工学課）
- ⑦ PVI 後の PV 内 Reentry に対し CARTO Activation Map にて Reentry 回路を確認しえた 1 例  
佐藤 有紀（名古屋大学医学部附属病院 臨床工学技術部）

○10:30～10:40

休憩

○10:40～12:00 シンポジウム

**「EP・アブレーションにおいてコメディカルに求められることと今後の展望」**

座長：丹生 治司（小倉記念病院 検査技師部工学課）  
高垣 勝（滋賀県立成人病センター 臨床工学部）

- ① 当院での心臓電気生理学検査(EPS)/アブレーション(ABL)業務における課題  
井野 裕也（京都桂病院 臨床工学科）
- ② EPSに携わる臨床工学技士としての学術活動  
～学会発表・論文作成・大学院進学を通して得られたものと目指すもの～  
杉村 宗典（天理よろづ相談所病院 臨床病理部）
- ③ 頻脈性不整脈に対するアブレーション その変遷を歩んできて  
内田 文也（三重ハートセンター 生理機能検査部）
- ④ EP・アブレーションにおけるコメディカルの役割  
～今までのコメディカルとこれからのコメディカル～  
高橋 勝行（倉敷中央病院 臨床検査科）

○12:00～12:45

昼休憩

○12:45～14:15 テクニカルトレーニング I

**「3D マッピング CARTO3 システム」**

共催: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

司会：高橋 秀暢（広島大学病院 診療支援部 臨床工学部門）  
森 紀成（豊橋ハートセンター 臨床工学技士科）

レクチャー：中嶋 勉（群馬県立心臓血管センター 臨床工学課）  
一柳 宏（名古屋大学医学部附属病院 臨床工学技術部）

○14:15～15:45 テクニカルトレーニング I

**「3D マッピング EnSite Velocity システム」**

共催: セント・ジュード・メディカル株式会社

司会：堺 美郎（済生会熊本病院 臨床工学部）  
前川 正樹（株式会社ホクシンメディカル 販売促進部）

レクチャー：本間 裕康（札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック リズムセンター）  
丹生 治司（小倉記念病院 検査技師部工学課）

○15:45

終了